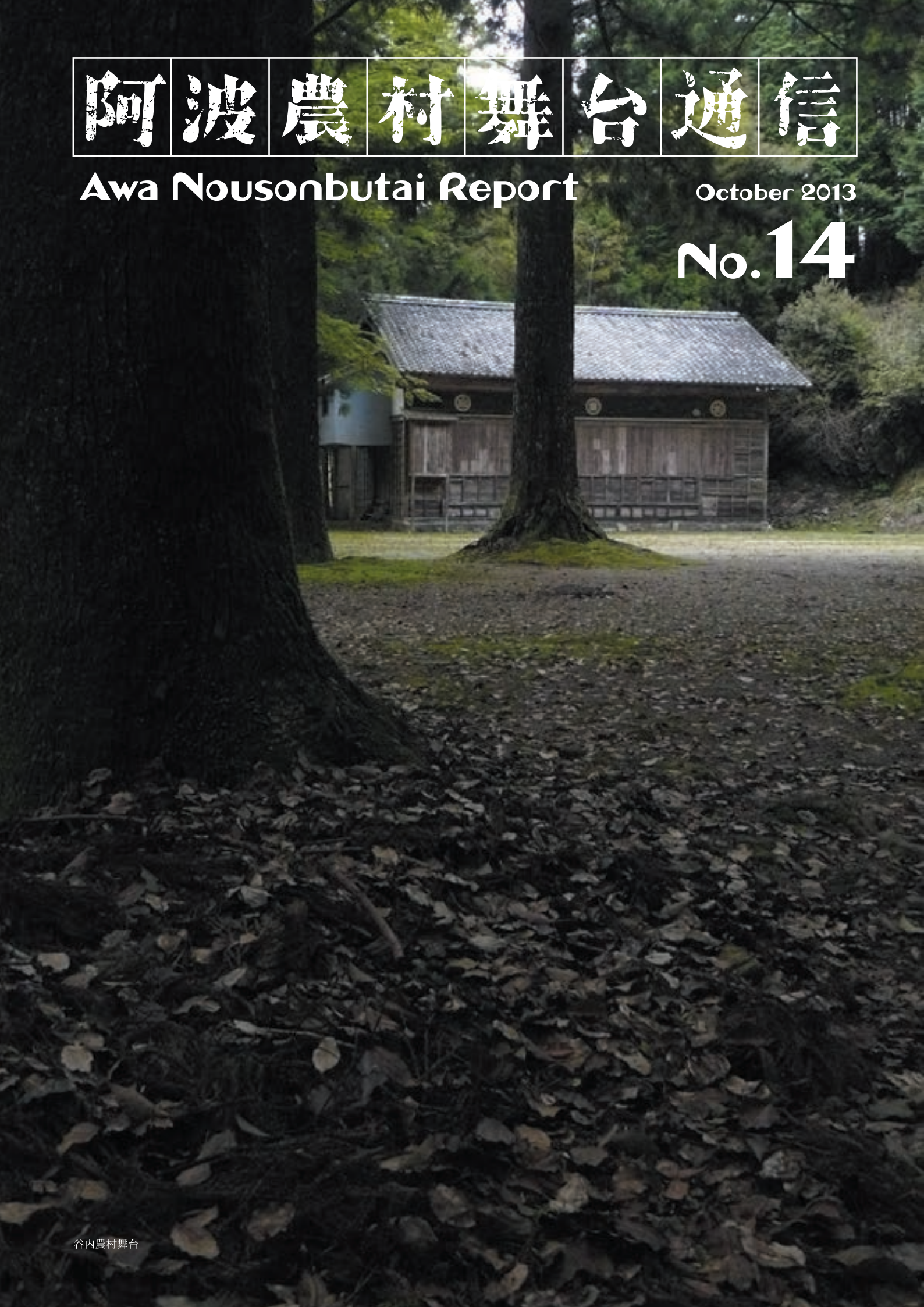


阿波農村舞台通信

Awa Nouseonbutai Report

October 2013

No.14



阿波農村舞台通信

平成25年 春の公演

今年も神山町の小野さくら野舞台、那賀町の八面神社農村舞台、拝宮農村舞台で4月から5月にかけて公演が行われました。

さわやかな空気と、桜や新緑の美しい時期で農村舞台ならではの風情を楽しむことができました。

八面神社では、待望の太夫座が新設され、その落成記念の公演となり、阿南市山口町の山口座をはじめて農村舞台で神事三番叟を披露しました。

「龍」拝宮農村舞台



「龍」小野さくら野舞台



山口座神事三番叟

また、小野さくら野舞台では定番となった襖からくりですが、小規模ながら拝宮農村舞台でも行われました。なかでも「龍」の図柄は大胆な構図で迫力満点です。

家重と遊山箱

家重は、けやきの木でつくられた大きな弁当入れ。数段の引き出しがある大きな箱で、上部には天秤棒で担ぐための金具が付いている。お祭りや芝居見物に、にぎり寿司やお餅など、馳走を詰めて神社の境内の農村舞台に集まり、隣同士で料理を交換しあつて楽しんだ。

太陽の恵みに感謝し豊作を祈る「お日待ち」と呼ばれる行事では、家重を囲み翌朝の日の出まで酒宴が続いた。人形浄瑠璃や地芝居にも欠かせないものであった。「鮎の姿寿司や煮しめを詰めていっきよったなあ。」
「ここに座れんぐらいようけ集まつてきよったわ。」



家重と遊山箱

阿波農村舞台の会
農村舞台の調査や公演の支援等の活動を行っています。
会員になると、機関紙、その他農村舞台関連の催し物情報等をお届けします。
●年会費／一般会員2千円。運営会員5千円。賛助会員1万円。●入会方法／事務局へご連絡ください。
入会申込書と会費の振込用紙をお送りいたします。ホームページからも入会申し込みができます。



阿波農村舞台通信

平成25年 No.14 2013年10月1日発行

阿波農村舞台の会

特定非営利活動法人 阿波農村舞台の会
〒770-8063 徳島市南二軒屋町2丁目3番3号 林建築事務所内
Tel.088-654-0359 Fax.088-623-7425
<http://www.nouseonbutai.com/> mail info@nouseonbutai.com

「皆のこまわつて唄つて飲んでおもしろかったな」
「もうあんな時代はもってこんわな」
「ほんまにのう」
今ではすっかり寂しくなった秋祭りの直会で、村のお年寄りが、懐かしそうに話してくれた。
家重をぐつと小さくコンパクトにしたのが「遊山箱」。徳島ならではの伝統文化で、桃の節句や端午の節句に、子ども達が山や海、野原へ遊山をする時に持って出かけた。小さな三段重ねの重箱で、巻き寿司や煮物、いろいろなものを入れて持ち歩く、子どものための春の宴用お弁当箱。子どもの成長を願う親の思いが込められている。